

勘定奉行クラウドから出力した預金残高を預金残高管理表へ転記するサンプルシナリオ

勘定奉行クラウドから出力したExcelファイルに記載された預金残高を預金残高管理表へ転記するサンプルシナリオとなります。

勘定奉行クラウドの合計残高試算表機能进行操作したいユーザ向けのサンプルシナリオです。
本サンプルシナリオを変更することで、合計残高試算表機能で出力可能なデータの転記作業を自動化することが可能です。

サンプルシナリオ概要

目次
はじめに
本サンプルシナリオの概要
使用するWinActorモジュール
本サンプルシナリオの入力ファイル
本サンプルシナリオの想定レベル
動作確認環境
制約事項
本サンプルシナリオの使い方
Step1.勘定奉行クラウドへのログイン
Step2.残高集計期間の設定
Step3.入力ファイルをディレクトリに配置
Step4.WinActorで本サンプルシナリオを読み込み
Step5.動作に必要な変数を設定
Step6.WinActorで本サンプルシナリオを実行
Step7.サンプルシナリオ実行終了後の確認
トラブルシューティング
サンプルシナリオ解説
入力ファイルの形式
変更履歴

はじめに

WinActorのノード等のWinActorモジュールを使用して、OBC奉行クラウドシリーズの勘定奉行クラウドから出力した預金残高を預金残高管理表へ転記するサンプルシナリオ(以降、本サンプルシナリオ)について説明します。

本サンプルシナリオの概要

本サンプルシナリオは、以下の処理を行います。

勘定奉行クラウドから、預金残高が記載された補助科目内訳表をExcelファイルとして出力します。

出力したExcelファイルの補助科目内訳表から預金残高を取得します。

入力ファイルのExcelファイルに預金残高を転記します。

使用するWinActorモジュール

本サンプルシナリオでは、以下のWinActorモジュールを使用します。

ノード/アクション/画像マッチング

ノード/アクション/ウィンドウ状態待機

ノード/アクション/指定時間待機

ノード/アクション/文字列送信

ノード/変数/変数値コピー

04_自動記録アクション/エミュレーション.ums6

04_自動記録アクション/クリック(WIN32).ums6

04_自動記録アクション/文字列設定(WIN32).ums6

07_文字列操作/03_連結/文字列の連結(2つ).ums6

07_文字列操作/03_連結/文字列の連結(4つ).ums6

11_ウィンドウ関連/ウィンドウ前面化.ums6

18_Excel関連/01_ファイル操作/Excel操作(上書き保存).ums6

18_Excel関連/01_ファイル操作/Excel操作(保存なしで閉じる).ums6

18_Excel関連/01_ファイル操作/Excel操作(全て閉じる).ums6

18_Excel関連/03_行列操作/Excel操作(最終行取得 その1).ums6

18_Excel関連/09_セル位置/A1形式→R1C1形式 その2.ums6

18_Excel関連/09_セル位置/R1C1形式 次の列へ.ums6

18_Excel関連/09_セル位置/R1C1形式 行移動(上書き).ums6

18_Excel関連/Excel操作(値の取得).ums6

18_Excel関連/Excel操作(値の取得2).ums6

18_Excel関連/Excel操作(値の設定).ums6

18_Excel関連/Excel操作(検索一致).ums6

本サンプルシナリオの入力ファイル

Excelファイルを入力ファイルとします。

シナリオ内でExcelファイルをオープンし、出力した預金残高を転記します。

入力ファイルの詳細は、[入力ファイルの形式](#)を参照してください。

本サンプルシナリオの想定レベル

本ドキュメントは、以下の技術レベルのユーザを対象としています。

OBCの勘定奉行クラウドの使い方について理解している。

動作確認環境

本サンプルシナリオは以下の環境で確認しています。

Windows 10、WinActor 6.3.0、Microsoft Excel 2019、勘定奉行 Ver.210224

Windows 10、WinActor 7.1.0、Microsoft Excel 2019、勘定奉行 Ver.210224

制約事項

本サンプルシナリオを実行するためには、勘定奉行クラウドにアクセスするためのインターネット環境が必要です。

本サンプルシナリオおよびドキュメントは勘定奉行クラウドにログインできる状態を前提に記載されています。

本サンプルシナリオは、WinActor 6.0より古いバージョンでは動作しません。

本サンプルシナリオは、勘定奉行クラウドお試し版に用意されているデータを使用しています。

本サンプルシナリオの実行対象となるデータが存在しない場合は、勘定奉行クラウドにデータを登録いただくか、入力ファイルのデータを変更してください。

本サンプルシナリオの使い方

本サンプルシナリオの実施方法は以下の通りです。

Step 1.勘定奉行クラウドへのログイン

本サンプルシナリオではシナリオ実行前に勘定奉行クラウドにログインする必要があります。

勘定奉行クラウドをお持ちでない場合は、以下のURLから勘定奉行クラウドお試し版を入手し、ログインしてください。

<https://www2.obc.co.jp/trial/cloud/kanjo/>

[\(https://www2.obc.co.jp/trial/cloud/kanjo/\)](https://www2.obc.co.jp/trial/cloud/kanjo/)

奉行クラウド

奉行クラウド ヘルプ

奉行クラウド Bot

法人情報

法人情報

経理規程

税務申告

部門

取引先

取引銀行

摘要

開始残高

財務会計

オリジナル帳票

決算処理

税務申告

App Connect

取引明細リスト

仕訳伝票入力

元帳

合計残高試算表

推移表

対比表

お知らせ

公開日	カテゴリ	タイトル
2020年 6月25日	アップデート	未読 機能追加
2020年 5月20日	お知らせ	未読 サービス利用規約の改定
2020年 5月15日	アップデート	未読 改正対応
2020年 4月28日	アップデート	未読 一部機能の改善
2020年 4月22日	アップデート	未読 二部機能の改善

一覧を表示する

7月10日（金）までの起票予定

起票予定の総件数
349 件

予約仕訳伝票 0 件

業務連携 0 件

領収書 0 件

銀行入出金明細 349 件

仕訳伝票データ 0 件

7月10日（金）に起票した仕訳伝票

自己入力分
0 件

帳票の確認

集計期間
2020年 7月 1日 ~ 2020年 7月31日

元帳

日計表

設定の変更

仕訳伝票ロック

仕訳伝票をロックする
~2020年 4月

お知らせ

2020年 3月までロック済み

設定の変更

ロックの確認

事業年度

最新年度

2021年 3月期

決算期間

第 3 期: 2021年 3月期

決算を確定する

事業年度の管理

勘定奉行ログイン後の画面

Step 2 .残高集計期間の設定

本サンプルシナリオで出力する残高の集計期間を事前に設定します。

以下の手順で設定してください。

1. 奉行クラウド画面の[合計残高試算表]を押下します。
2. 条件設定画面の集計期間項目の"~"の右にあるコンボボックスから「2020年 4月」を選択します。 ※任意の年月で問題ありません。

条件設定画面

3. 条件設定画面右側の[画面(V)]を押下します。
4. 合計残高試算表画面下部の[閉じる]を押下します。

Step 3 .入力ファイルをディレクトリに配置

任意のディレクトリに入力ファイルを配置します。
本サンプルシナリオには、サンプルのExcelファイル(預金残高管理表.xlsx)が添付されています。
このファイルに出力した預金残高を転記します。

Step 4 .WinActorで本サンプルシナリオを読み込み

WinActorを起動し、本サンプルシナリオを読み込みます。

Step 5 .動作に必要な変数を設定

本サンプルシナリオを実行するために必要な値を、変数一覧で設定します。
本サンプルシナリオの実行にあたり、事前に設定が必要な変数は下記の通りです。

補助科目内訳表保存先フォルダパス

勘定奉行から出力するExcelファイルを保存するためのディレクトリパスを指定します。

例) C:¥sample¥出力先

預金残高管理表ファイルパス

本サンプルシナリオの入力ファイルのファイルパスを指定します。

例) C:¥sample¥預金残高管理表.xlsx

集計期間終了日

預金残高の集計終了日を指定します。

変数一覧						
グループ名	変数名	現在値	初期化しない	初期値	マスク	コメント
	補助科目内訳表保存先フォルダパス		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	※奉行クラウドからダウンロードした補助科目内訳表の保存先フォルダの"絶対パス"を設定してください
	預金残高管理表ファイルパス		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	※預金残高管理表ファイルの"絶対パス"を設定してください
	集計期間終了日		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	※日にち(dd)を設定してください

本サンプルシナリオ変数一覧の設定

Step 6 .WinActorで本サンプルシナリオを実行

本サンプルシナリオを実行します。

勘定奉行から出力した預金残高が入力ファイルに転記されます。

Step 7 .サンプルシナリオ実行終了後の確認

実行終了後、以下の結果となっていることを確認してください。

Excel保存フォルダに、勘定奉行から出力された「当座預金」および「普通預金」(Excelファイル)が格納されていること。

預金残高管理表の「当座預金」および「普通預金」シートの集計期間終了日で指定した日にちの行に、預金残高が記載されていること。

トラブルシューティング

本サンプルシナリオでは、指定秒数待機している箇所があります。

以下に、固定秒数待機不足により失敗する動作に対しての修正箇所を記載します。

シナリオ内の対象となる指定時間待機モジュールの待機時間プロパティの秒数を増やす対応をしてください。

エラー内容	シナリオ内対象ブロック
指定した集計期間日が入力されない	日付入力欄に移動の1つ前
勘定科目の当座預金が選択されない	当座預金選択の1つ前
勘定科目の普通預金が選択されない	普通預金選択の1つ前
補助科目内訳表(奉行クラウド画面)が表示されない	補助科目(S)クリックの1つ前
補助科目内訳表(Excel)が表示されない	クイックExcelクリックの1つ前
Excel保存画面が表示されない	保存画面表示の1つ前
補助科目内訳表(奉行クラウド画面)が閉じない	閉じるクリックの1つ前

固定秒数待機不足によるエラーの修正箇所一覧

サンプルシナリオ解説

本サンプルシナリオで使用している実装テクニックについて説明します。

入力ファイルの形式

入力ファイル(Excel)の内容は以下のとおりです。

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		当座預金					
3			東京中央銀行本店	北日本銀行本店	西部銀行本店	南の島銀行本店	
4		1	234,481,419	80,263,260	182,381,780	139,799,000	
5		2	234,481,419	80,263,260	182,381,780	139,799,000	
6		3	234,481,419	80,263,260	182,381,780	139,799,000	
7		4	234,481,419	80,263,260	182,381,780	139,799,000	
8		5	234,481,419	80,263,260	182,381,780	139,799,000	
9		6	234,481,419	80,263,260	182,381,780	139,799,000	
⋮		省略					
34		31					
35							

入力ファイルサンプル

列名	行番号	指定内容	詳細
B	4以降	日にち	集計期間の終了日。 変更してもシナリオに影響しません。
C以降	3	ヘッダ	補助科目名 預金残高の転機を行う補助科目名を記載してください。

入力情報

本シナリオでは、預金残高の転記処理を入力ファイルに記載してある補助科目名に対してループを用いて繰り返し実行します。

なお、勘定奉行クラウドから出力された補助科目内訳表に記載のない補助科目名を使用した場合は預金残高が取得できていないため転記されません。

変更履歴

版数
1.0版
日付
2021/3/18
修正内容
初版

版数
1.1版
日付
2024/1/16
修正内容
・注意事項を削除 ・ファイル名を「SS2103_12936_OBCOperation_CreateAccountingReport_1.0.1.zip」に変更